

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
EU41B601		学校実践総合演習(Synthetic Seminar in School Practice)					実践演習科目										
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	2	1	教育学研究科	通年		氏名 内田昭利、大島崇、木村典之、清國祐二、清松今朝見、熊丸真太郎、河野晋也、佐藤晋治、佐藤由美子、高橋徹弥、竹中真希子、藤村晃成、宮崎好治、森竹啓介、山本遼、渡邊英樹、友成洋 E-mail kumamaru@oita-u.ac.jp(熊丸) 内線 7550(熊丸)											
授業の概要	学校教育や教員に関わる実践上の課題を理解した上で、各々の知見を活用し異種の専門家と協働して課題解決を図る力を養う。 学校現場の事例(いじめ、学級経営、インクルーシブ教育、学校の課題に即したテーマなど)の分析を通して、学校教育や教員に関わる実践上の課題に対する理解を深めるとともに、各々の知見を活用し異種の専門家と協働して課題解決の方策を構想することができる。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 学校教育や教員に関わる実践上の課題を理解する																	
目標2 課題解決のため、異種の専門家と協働できる																	
目標3 大学院での学修等で獲得した知見や教員としての経験知を活用し課題解決を図ることができる。																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 オリエンテーション、これからの社会や学習のあり方を考える																	
2 これからの学校に求められる学校のビジョンを考える																	
3 これからの学校に求められる教育活動を考える																	
4 これからの学校に求められる教育活動をどのように実現するか考える																	
5 これからの学校に求められる児童・生徒への支援を考える																	
6 これからの学校に求められる外部との連携のあり方を考える																	
7 「第1回学校説明会」準備																	
8 「第1回学校説明会」発表																	
9 オリエンテーション、これからの社会や学習のあり方の再検討																	
10 これからの学校に求められる学校の再検討																	
11 これからの学校に求められる学校の「強み」の具体を考える																	
12 これからの学校に求められる学校の「強み」をどう活用するか考える																	
13 「第2回学校説明会」準備																	
14 「第2回学校説明会」発表																	
15 ふりかえり(これからの自分に何が必要か、何をなすべきか)																	
ラーニング	A:知識の定着・確認	プレゼンテーション、ディスカッション(ガイド付き・フリー)、バズセッション、ブレインストーミング、ラウンドロビン					工夫	その他の									
ニテ	B:意見の表現・交換																
ン	C:応用志向																
グ	D:知識の活用・創造																
時間外学修の内容と時間の目安	準備	プレゼン準備(10h)															
	事後	文献、インターネット等を用いた事例研究(10h)															
教科書	教科書は指定しない。授業中に配布するプリントや小冊子を使用する。																
参考書	文部科学省初等中等教育局児童生徒課『いじめ対策に係る事例集』2018年9月																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	最終レポート	50%															
	複数教員による多面的・総合的評価(課題に取り組む姿勢、発表内容)	50%															
注意事項																	
備考																	
リンク																	
	URL																

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の実務 経験	内田：中教員など，佐藤：臨床心理士，学校心理士，河野：小教員，など。
実務経験を いかした教 育内容	学校現場や教育行政，学校カウンセリング等の実務経験に基づく指導を行う